ケンコーデジタルカメラ

DSC1650Z

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC1650Z」を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

ケンコー
デジタルカメラ
DSC1650Z
取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC1650Z」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

目次

目次

はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC1650Z」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。

■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
　また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
　当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、
　あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。

■本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

■液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
　使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、
正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、
次の絵表示で説明しています。

⚠ 危 険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
⚠ 警 告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注 意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危 険

■可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。
引火・爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの 加工および、火中投入などは行わないでください。
発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

安全上のご注意 必ずお読みください。

⚠ 警 告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。

■目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でフラッシュを発光させないでください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。
電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。

■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。
事故の原因になります。

■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。

■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。
お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
口にあてて窒息の原因になることがあります。

安全上のご注意 必ずお読みください。

⚠ 注 意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所
●温度･湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。

■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。
集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。
故障の原因になります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。

■本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

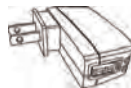
カメラの紹介

セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

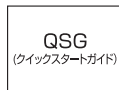
カメラ本体

ポーチ
（形状が異なる場合があります。）

リチウムイオン充電池

ACアダプター
（形状が異なる場合があります。）

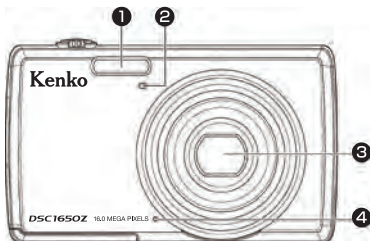
ストラップ

USB-PC接続コード

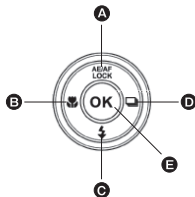
取扱説明書（本書）

クイックスタートガイド

カメラの紹介

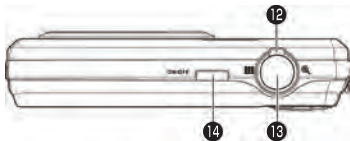
各部の名称

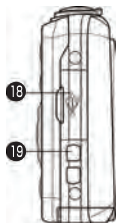
前面

背面

❶ 内蔵フラッシュ
❷ セルフタイマーLEDランプ
❸ レンズ
❹ マイク
❺ 液晶モニター
❻ 緑色LEDランプ
❼ 動画撮影ボタン
❽ メニューボタン
❾ マルチ選択ボタン
❿ 再生ボタン
⓫ 機能ボタン

マルチ選択ボタン

Ⓐ 上ボタン
Ⓑ 左ボタン
Ⓒ 下ボタン
Ⓓ 右ボタン
Ⓔ OK ボタン

カメラの紹介

上面

底面

右側面

左側面

⑫ ズームレバー
ズームアウト(W: ▦)／ズームイン(T: 🔍)

⑬ シャッターボタン

⑭ 電源ボタン

⑮ 電池室蓋

⑯ スピーカー

⑰ 三脚取付穴

⑱ USB接続端子

⑲ ストラップ取付穴

カメラの紹介

ボタンの機能を紹介します

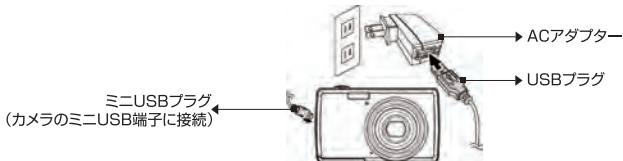
ボタン	名　称	機　能
上 ▲ 左◀ ▶右 ▼ 下	マルチ選択ボタン	上ボタン　：各項目・設定時に上へ移動します。 静止画撮影時、長押しするとAF/AEをロックします。 下ボタン　：各項目・設定時に下へ移動します。 静止画撮影時、フラッシュの設定します。 左ボタン　：各項目・設定時に左へ移動します。 静止画撮影時、撮影距離を設定します。 右ボタン　：各項目・設定時に右へ移動します。 静止画撮影時、連写モードをします。 OKボタン：設定モード時に項目を選択します。
ON/OFF	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	シャッターボタン	押すと静止画を撮影します。
	ズームレバー	静止画・動画撮影時に 右側に押すとズームイン（拡大）、左側に押すとズームアウト（縮少）します。 動画・音声メモ再生時に右側に押すと音量が大きくなります。 左側に押すと音量が小さくなります。
	録画ボタン	押すと動画を撮影します。 再度押すと録画を終了します。

カメラの紹介

ボタン	名　称	機　能
M	メニューボタン	各項目･設定を行います。
Fn	機能ボタン	静止画・動画の機能設定を行います。
▶	再生ボタン	再生モードにします。再度押すと撮影画面に戻ります。

充電池の充電

充電池の充電は、付属のACアダプターを使用して行います。

カメラに充電池を取り付けます。P.16「充電池の取り付け」をご覧ください。
図のようにカメラのUSB接続端子カバーを開いて、付属のUSB-PC接続コードのミニUSBプラグをカメラのミニUSB端子に接続し、ACアダプターをコンセントにセットしてから、もう一方のUSBプラグ（大きい）をACアダプターに接続します。
カメラの緑色LEDランプが点滅し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

◆ 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

電池の残量は充分です。

電池の残量は半分以上あります。

電池残量が少なくなりました。充電の準備をしてください。

充電してください。

◆ 電池残量表示は目安になります。

◆ 電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間（およそ1ヶ月以上）使用しないときは電池を取り出してください。

◆ 付属のUSB-PC接続ケーブルでカメラとコンピューターに接続することで、充電池の充電をすることもできます。カメラの電源がオフの時にコンピューターに接続すると充電がはじまります。充電が開始されると緑色LEDランプが点灯します。充電が完了すると緑色LEDランプが消灯します。カメラの電源がオンの時にコンピューターに接続すると、USB-モードになります。

◆ 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

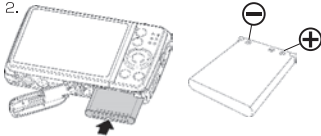
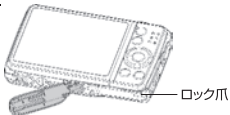
◆ 電池は充電されておりません。はじめてご使用になる時は、フル充電をしてからお使いください。

◆ 付属のACアダプター以外で充電すると、トラブルの原因となりますので必ず付属のACアダプターまたはパソコンのUSBバスをご使用ください。充電中は、カメラを操作することはできません。

充電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電池をセットします。

カメラに付属している充電池、またはメーカや販売店が推奨する充電池以外は使用しないでください。
電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ底面の電池室蓋を OPEN▷の方向にスライドさせて開きます。
2. 図を参考に⊕⊖ 方向を確認して、リチウムイオン充電池をセットします。
3. 電池室蓋を閉じ、OPEN▷ 反対方向にスライドして完全に閉じます。
4. 充電池を取り外す場合は、ロック爪を▲（液晶モニター）側へスライドすると充電池が少し飛び出します。

- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は⊕⊖方向に注意し、接点が奥になるように正しくセットしてください。

ご使用の前に

アルカリ乾電池に関する安全上の注意（対象:アルカリ乾電池使用カメラ）

⚠ **警 告**　付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向のセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。

②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間（使用方法はおよそ1ヶ月以上）カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。

③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断･治療を受けてください。

④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。

⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

リチウムイオン充電池に関する安全上の注意（対象:リチウムイオン充電池使用カメラ）

⚠ **警 告**　付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器（ACアダプター）以外で充電しないでください。

②ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向のセットはしないでください。

③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断･治療を受けてください。

④リチウムイオン充電池をカメラから取り出して保管･持ち運びの場合、安全のためビニール袋･プラスチックケース等に入れてください。

⑤リサイクルのお願い

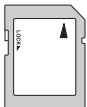
不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉
詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。
・ホームページ http://www.baj.or.jp/

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 皮覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する場合

SDメモリーカード(別売)をカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットして撮影·録画すると、録画·撮影した画像は自動的にSDメモリーカードに記録されます。

SDメモリーカード

●このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード32MB〜2GB、SDHCメモリーカード32GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。
●SDメモリーカードは@(クラス)6以上を推奨します。
●内蔵メモリーのユーザ使用可能領域は約37MBです。

SD/SDHCメモリーカードを取り付ける

SDメモリーカードはカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットします。

1.

2.

接触面

1. 電池室蓋を開けます。P.16「充電池の取り付け」をご覧ください。
2. SDメモリーカードの接触面が上になるようにして、SDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. SDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDメモリーカードが少し飛び出ます。

◆ 新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDメモリーカードのフォーマット(P.20参照)をしてください。

◆ 撮影した画像に付けられるファイル名の番号(FILE XXXX)は、SDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラのフォーマット機能(P.20参照)でSDメモリーカードを初期化してください。

● 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。

● SDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
● すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
● 他のカメラ等のファイルが保存されているSDメモリーカードをセットすると、誤作動する場合があります。

SD/SDHCメモリーカードを使用する前に

◆新しいSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット（初期化）してください。

◆SDメモリーカードをセットすると、カメラはSDメモリーカードを認識し、内蔵メモリーを認識しません。

◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.6〜9に記載されていますので必ずよくお読みください。

●パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

●SDメモリーカードのフォーマット（初期化）はカメラで
本製品にはSDメモリーカードをフォーマット（初期化）する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

●ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリーカードはロックされ、SDメモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。
記録／消去する場合はロックを解除してください。

ライトプロテクトスイッチ

◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

● SDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。

● SDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）

● 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

SD/SDHCメモリーカードのフォーマット

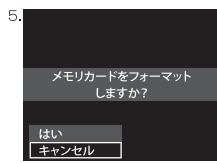
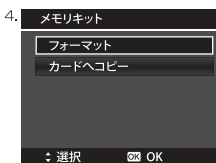
メモリーをフォーマット（初期化）する機能です。

◆ SD／SDHCメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。

- SDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。
（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ（P.19参照）でロックしている場合、フォーマットは行われません。

次ページに続く

●P.20からの続き

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押し、マルチ選択ボタン(以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下、左または右ボタンと記載)の左または右ボタンを押して、「設定 🔧」にします。
3. 上または下ボタンを押して「メモリキット」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押し、サブメニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択してOKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択してOKボタンを押して決定します。
   はい　　　:SDメモリーカードまたは内蔵メモリーのフォーマットをします。
   キャンセル :フォーマットしません。
6. 撮影画面に戻ります。

2.
3.
4.
5.
◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
◆フォーマットしますと全てのデータが削除されますのでご注意ください。プロテクトされたデータも削除されます。
◆削除されたデータ(画像等)は元に戻りませんのでご注意ください。
◆SD/SDHCメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。
◆設定により表示は異なります。

ご使用の前に

ストラップの取り付け

右図を参考にして、ストラップを取り付けてください。

電源のオン／オフ

電源ボタンを押すと、カメラの電源がオンになります。

再度電源ボタンを押すと、カメラの電源がオフになります。

◆電源を入れると、緑色のLEDランプが点灯し、液晶モニターが表示されます。

◆一定時間以上カメラを使用しない時間が続くと、自動的にカメラの電源がオフになります。
P.96「自動電源オフ」をご覧ください。

LEDランプ表示

名　称	色	説　明
緑色LEDランプ	緑の点灯	電源が入っています。
	緑の点滅	充電中
		撮影後、データ処理中。
		動画撮影中です。(音声メモモード時は録音中です。)
		(早い点滅)AF検出中
セルフタイマー表示灯	赤の点滅	セルフタイマーが作動中です。

日付と時刻の設定

カメラをご使用の前に、日付と時刻の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して「設定 」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日時」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
5. 左または右ボタンを押して項目を選択し、上または下ボタンで数値を調整し、右ボタンを押して次の項目(例えば年→月)に移動します。
6. 年/月/日の表示順序を変更する場合は、年/月/日の項目を選択し、上または下ボタンを押して、表示順序を決定します。
7. すべての数値の調整が終わりましたらOKボタンを押して決定します。
8. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.

3.

4.

5.

◆ 日付/時刻は初期設定(全てリセット)しても初期設定には戻りません。

◆ 選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。

◆ 設定により表示は異なります。

◆ 日付/時刻は、静止画・動画共にファイルデータとして記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

言語の設定

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して「設定 」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「言語」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
5. 上／下または左／右ボタンを押して使用する言語を選択し、OKボタンを押して決定します。
6. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.

4.

5.

◆ 日付／時刻は初期設定（全てリセット）しても初期設定には戻りません。

◆ 選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。

◆ 31の言語に対応しています。

◆ 設定により表示は異なります。

液晶モニターアイコン

撮影モード

1. モード
2. フラッシュモード
3. セルフタイマー／連写モード
4. ズームインジケータ
5. 記録可能枚数（目安です）
6. 電池残量
7. メモリー
8. 風カット
9. 動画サイズ
10. 手ぶれ警告
11. 日付プリント
12. 手ブレ軽減
13. ヒストグラム
14. ISO感度
15. メインフォーカスフレーム
16. シャッタースピード
17. 絞り値
18. シャープネス
19. 彩度
20. コントラスト
21. 露出補正
22. 撮影距離
23. 顔認識
24. ホワイトバランス
25. 測光方式
26. 画質
27. 静止画サイズ

※設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生モード

1. 再生モード
2. 保護
3. ボイスメモ
4. キーインジケータ
5. 現在のファイル番号／全てのファイル数
6. 電池残量
7. メモリー
8. 撮影情報
9. DPOF
10. サイズ

※設定により表示されるアイコンは異なります。

動画撮影モード

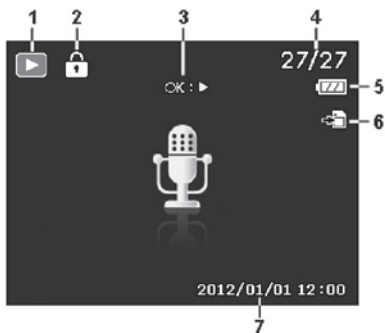
1. キーインジケータ
2. 録画時間／録画可能時間(目安です)
3. 録画

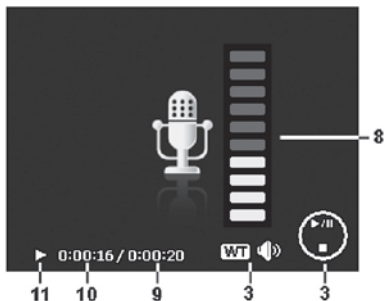
※設定により表示されるアイコンは異なります。

動画再生モード

1. 再生モード
2. 保護
3. 動画ファイル
4. キーインジケータ
5. 現在のファイル／全てのファイル数
6. 電池残量
7. メモリー
8. 撮影日時
9. サイズ
10. 音量
11. 撮影時間
12. 再生時間
13. 再生

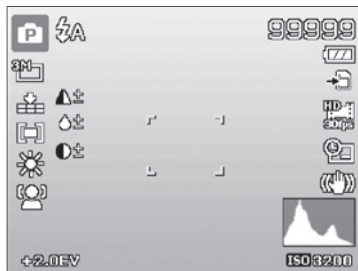
※設定により表示されるアイコンは異なります。

音声メモ再生モード

1. 再生モード
2. 保護
3. キーインジケータ
4. 現在のファイル番号／全てのファイル数
5. 電池残量
6. メモリー
7. 録音日時
8. 音量
9. 録音時間
10. 再生時間
11. 再生

※設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モード

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、カメラをしっかりと構えてシャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

◆シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。

◆半押し状態の時、カメラが自動的に露出とピントを合わせます。ピント・露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。ピントが合わない場合はメインフォーカスフレームが赤色になります。赤色になった場合、正しい撮影距離(P.36参照)で撮影されているかどうかご確認ください。

◆被写体周辺の光量が不足している場合、シャッター速度が遅くなり、液晶モニターに手ブレ警告アイコン が表示されます。カメラをしっかりと構え、手ブレにご注意ください。フラッシュまたは三脚等の使用をおすすめします。

ズーム撮影

カメラには5倍の光学ズームが搭載されています。
さらに5倍のデジタルズームと組み合わせ、最大25倍のズーム撮影を行うことができます。

〈光学ズームのみを使用する場合〉

1. ズームレバーを右側 🔍 に回すと、光学ズームがズームイン(拡大)します。
2. ズームレバーを左側 ▦ に回すと、光学ズームがズームアウト(縮小)します。

〈光学ズーム+デジタルズームを使用する場合〉

1. P.48「デジタルズーム」をご覧の上、デジタルズーム機能が有効になっていることを確認します。
2. ズームレバーを右側 🔍 に回すと、光学ズームがズームイン(拡大)します。
   光学ズームの倍率が上限の5倍に達すると、ズームが停止します。
3. 一度ズームレバーから指を離し、再度ズームレバーを右側 🔍 に回すと、
   デジタルズームがズームイン(拡大)します。
4. ズームレバーを左側 ▦ に回すと、デジタルズームがズームアウト(縮小)します。
   デジタルズーム1.1倍でズームが停止します。
5. 一度ズームレバーから指を離し、再度ズームレバーを左側 ▦ に回すと、
   光学ズームがズームアウト(縮小)します。

※設定により表示されるアイコンは
異なります。

◆ デジタルズームの倍率が大きくなると、
撮影した画像の解像度は低下します。
◆ 動画撮影では、デジタルズームを使用できません。
◆ P.48「デジタルズーム」をご覧ください。
◆ ズームの倍率は、設定により異なります。

静止画モード

シーンモードの切り替え

静止画撮影モードを選択します。

1. メニューボタン を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シーンモード 」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

2.
AUTO	オート	自動設定で静止画を撮影します。
P	プログラム	DSC1650Z の機能をフルに活用します。
	インテリジェント	ビギナー(初心者)向けのモードです。P.34をご覧ください。
	ポートレート	人物(ポートレート)の撮影に適しています。
	風景	距離を無限に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。
	夕日	夕陽の撮影に適しています。深い色味を演出します。
	逆光	逆光撮影での障害を低減します。
	キッズ	子供の撮影に適しています。しばらく被写体にピントを合わせ続けます。
	夜景	暗い場面での撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
LOMO	モード	トイカメラ風に撮影します。
	花火	きれいに花火を撮影します。三脚等の使用をおすすめします。
	雪景色	雪景色の撮影に適しています。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。

静止画モード

	パーティ	室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。赤目軽減機能が有効になります。
	キャンドルライト	ロウソクの明かりの中で、雰囲気のある写真を撮影することができます。三脚等の使用をおすすめします。
	夜景ポートレート	夜間または暗い背景での人物の撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
	肌色	人物の肌色を綺麗に撮影します。
	流水	流水の撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
	食べ物	彩度を高め、食べ物を美味しそうな色に仕上げます。
	建物	縁を強調して撮影します。建物等の撮影に適しています。
	文字	印刷物などを、白黒をはっきりと強調します。
	木の葉	植物の緑色を鮮やかに再現します。
	オークション	複数のカット(4カット以内)を一枚の画像に仕上げることができます。 P.41をご覧ください。
	スマイルキャプチャ	笑顔を検出すると、自動的にシャッターが下ります。P.39をご覧ください。
	まばたき検出	人物が撮影時にまばたきをした際、ファイルの保存またはキャンセルを選択できます。
	多重撮影	この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。
	恋人	二人の顔を検出すると、自動的に約2秒後に撮影します。
	自画像	カメラを向けたご自身の顔を検出すると、自動的に約2秒後に撮影します。
	D-Lighting	部分的にデジタル処理を加え、被写体の明暗差を自然に近づけます。
	録音	音声を録音します。P.68「音声モード」をご覧ください。

◆ 静止画専用機能になります。動画撮影では機能しませんので、あらかじめご了承ください。
◆ オート、プログラム、インテリジェントが基本モードになります。
◆ すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。

インテリジェント モード

※設定により表示されるアイコンは異なります。

撮影状況に合わせて、カメラが自動的に最適なシーンモードに設定します。
ビギナー（初心者）の方にお勧めです。

1. 「インテリジェントモード」に設定します。
   P.32「シーンモードの切り替え」をご覧ください。
2. 液晶モニターで被写体を捉えると、カメラが撮影状況に合わせた最適なシーンモードに切り替えます。
3. シャッターボタンを半押しして露出とピントを合わせ、シャッターボタンを完全に押して撮影します。

◆ 液晶モニター左上に、設定中のインテリジェント シーンモード アイコンが表示されます。
◆ 顔が検出されると、白いフレームが表示されます。
◆ すべての状況で動作を保証するものではありません。
◆ 静止画のみの機能です。

静止画モード

フラッシュ撮影

内蔵フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて変更します。

1. 下ボタンを押して、フラッシュモードを切替えます。

⚡A	自動	被写体周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
⚡👁	赤目低減	暗い場所などでの撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。フラッシュは二度発光します。
⚡	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光などでの撮影時におすすめします。
⚡SL	スローシンクロ	フラッシュを発光しながら、遅いシャッター速度で撮影します。 手前の人物だけではなく背景もある程度写ります。手ブレを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
⊘	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。 博物館等フラッシュが禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている場合におすすめします。

〈フラッシュの有効範囲〉

約1m～4m（Wide）、1m～2m（Tele）

◆フラッシュの充電中は、撮影できません。

◆電池残量が少ない場合、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。

◆静止画のみの機能です。

◆撮影モード等により選択できるフラッシュモードが異なります。また使用できない場合もあります。

◆連写モードおよびAEBモードの場合、フラッシュは使用できません。

◆電源をオフにすると設定は自動に戻ります。（シーンモードがオートの場合）
シーンモードが「プログラム」の場合は、戻りません。

◆被写体が白っぽいあるいは光を反射する物では、露出オーバになる場合があります。
この場合は、露出補正してください。P.56「露出補正」をご覧ください。

静止画モード

撮影距離

フォーカスモードを設定します。
正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. 左ボタンを押して、フォーカスモードを切り替えます。
   ボタンを押すごとにフォーカスモードが切り替わります。

表示	モード	撮影距離	備考
AF	オートフォーカス	約0.05m～∞(W)、約0.6m～∞(T)	通常の撮影モードです。
	スーパーマクロ(接近)モード	約5cm(W)	文字や草花などの小さな被写体にピントを合わせることができます。
PF	パンフォーカスモード	―	この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。
	無限遠	∞(無限大)	遠くの被写体にピントを合わせます。風景の撮影に適しています。
MF	手動フォーカス	約30cm～100cm(W)	手動(上または下ボタン)でピントを合わせることができます。 ピントを合わせてからシャッターボタンを押します。 撮影後、プレビュー等で確認してください。W端での撮影になります。

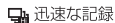
◆ 電源をオフにすると、標準(オートフォーカス)モードに戻ります。
◆ 手動フォーカスは、シャッターを切ると標準(オートフォーカス)モードに戻ります。

連写モード

連続撮影の設定をします。

1. 右ボタンを押して連続撮影モードを切り替えます。
   ボタンを押すごとに連続撮影モードが切り替わります。
   下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オフ ：連続撮影モードを設定しません。

連写 ：シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。
約2秒間隔で撮影します。
シャッターボタンから手を離すと、連続撮影を終了します。

迅速な記録 ：シャッターボタンを1回押すと、VGAサイズで約1秒間に30枚撮影します。

AEB（オートブラケッティング）：シャッターボタンを1回押すと、自動的に露出をずらして、静止画を3枚撮影します。

◆ 電源をオフにすると、設定はオフ（1枚撮影）に戻ります。
◆ 静止画のみの機能です。

AE/AFロック

AF/AF(露出／焦点)をロックします。

1. 被写体を画角中央に捕え、上ボタンを長押しします。
   モニター左下に「AE/AF 🔒」ロックアイコンが表示されます。
2. シャッターを押して撮影します。

◆ カメラを動かすと露出／焦点が合わない場合がありますのでご注意ください。
◆ 電源をオフにすると、設定はAF(オートフォーカス)に戻ります。
◆ 静止画のみの機能です。

笑顔認識（スマイルキャプチャ）

笑顔を認識すると、自動的にシャッターが下ります。

1. 「スマイルキャプチャ 」に設定します。
   P.32「シーンモードの切り替え」をご覧ください。
2. カメラを構え、液晶モニターで被写体を捉えます。
3. 顔を認識すると白いフォーカスフレームが表示されます。
4. 撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
5. 笑顔を認識すると自動的にシャッターが下がります。

4.

※設定により表示されるアイコンは異なります。

◆ 人物が二人以上の場合、カメラに最も近い人物の笑顔を検出します。この場合、検出に多少時間がかかる場合があります。

◆ 笑顔には個人差がある為、すべての状況で動作を保証するものではありません。

◆ 静止画のみの機能です。

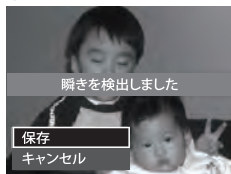
まばたき検出

撮影時に人物がまばたきをした際、カメラがまばたきを検出し、
ファイルの保存または削除を選択することができます。

4.

1. 「まばたき検出 👀! 」に設定します。
   P.32「シーンモードの切り替え」をご覧ください。
2. シャッターボタンを半押しして撮影準備が整うと
   フォーカスフレームが緑色に変わります。
3. シャッターボタンを押して撮影します。
4. カメラがまばたきを検出した場合は、
   「保存」または「キャンセル」の選択画面が表示されます。
5. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   保存　：カメラに画像を保存します。

   いいえ：画像を保存しません。

◆ すべての状況で動作を保証するものではありません。
◆ 静止画のみの機能です。

オークションモード

複数のカット(4カット以内)を
一枚の画像に仕上げることができます。

1. 「オークションモード 」に設定します。
   P.32「シーンモードの切り替え」をご覧ください。
2. 左または右ボタンを押して配置を選択し、
   OKボタンを押します。
3. シャッターボタンを押して撮影します。
   写りを確認し、続ける場合はOKボタンを押して保存します。
4. 他のカットも同様に撮影して保存します。
   設定したコマ数を撮影すると、右図のような写真が撮れます。

2.

3.

OK 続ける　MENU キャンセル

完成

OK 保存　MENU キャンセル

◆静止画のみの機能です。

撮影メニュー

撮影時の設定をします。

1. メニューボタン を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択し、
   OKボタンまたは右ボタンを押して、サブメニューを表示します。

シーンモード

P.32「シーンモードの切り替え」をご覧ください。

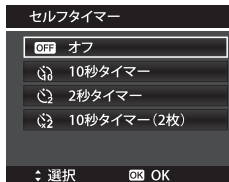
セルフタイマー(初期設定:オフ)

セルフタイマーを設定します。

1. 「セルフタイマー」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   OKボタンを押して決定します。

OFF オフ	:セルフタイマーを設定しません。
10秒タイマー	:シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影します。
2秒タイマー	:シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影します。
10秒タイマー(2枚)	:シャッターボタンを押してから約10秒後とその2秒後に撮影します。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.
セルフタイマー
OFF オフ
10秒タイマー
2秒タイマー
10秒タイマー(2枚)
選択
OK OK

◆ 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
◆ 静止画のみの機能です。

AF領域（初期設定：ワイド）

オートフォーカスの領域を設定します。

1. 「AF領域」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   顔追跡　：検出された顔に焦点を合わせます。

   ワイド　：広範囲に焦点を合わせます。

   中央部重点：画角中央部に焦点を合わせます。

   AF追跡　：中央部に表示されるAFエリアマークにシャッターを半押しして焦点を合わせ、半押しのまま少しカメラを動かすと最初に焦点を合わせた被写体を追跡します。
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

◆ プログラムモード時に選択できます。
◆ すべての撮影条件で動作を保証するものではありません。
◆ 静止画のみの機能です。

シャープネス（初期設定：標準）

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。

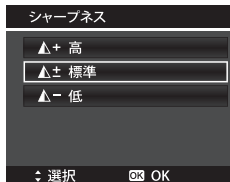
1. 「シャープネス」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   ◭+ 高　：シャープな静止画に仕上がります。

   ◭± 標準：効果を加えません。

   ◭− 低　：ソフトな静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

彩度（初期設定：標準）

撮影する静止画の彩度（色の鮮やかさ）を設定します。

1. 「彩度」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
   - ♦+ 高　：彩度を高めた静止画に仕上がります。
   - ♦± 標準：効果を加えません。
   - ♦− 低　：彩度を抑えた静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.

2.

彩度

♦+ 高

♦± 標準

♦− 低

選択　OK OK

コントラスト(初期設定:標準)

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. 「コントラスト」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   OKボタンを押して決定します。

   ◑＋ 高　:コントラストを高めた静止画に仕上がります。

   ◑± 標準:効果を加えません。

   ◑－ 低　:コントラストを抑えた静止画に仕上がります。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.

コントラスト ◑±
画質
デジタルズーム OFF
日付スタンプ OFF
自動表示 ON
選択 Menu 終了

2.

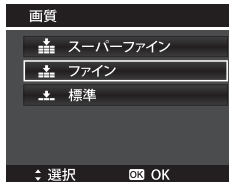
画質(初期設定:ファイン)

撮影する静止画の画質を設定します。

1. 「画質」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   スーパーファイン:最高画質

   ファイン　　　　:高画質

   標準　　　　　　:標準画質
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

◆ 高画質なほど鮮明ですがデータ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

◆ 静止画のみの機能です。

デジタルズーム

デジタルズーム機能の設定を行います。

1. 「デジタルズーム」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   OKボタンを押して決定します。

   Int インテレクトズーム：高解像度を維持してズームイン（拡大）します。

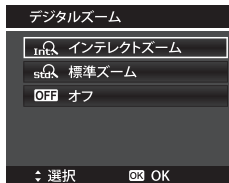
   Std 標準ズーム　　　　：最大5倍までズームイン（拡大）します。

   OFF オフ　　　　　　　：デジタルズーム機能を無効にします。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

デジタルズーム
Int インテレクトズーム
Std 標準ズーム
OFF オフ
選択
OK OK

◆ デジタルズームのご使用方法は、P.31「ズーム撮影」をご覧ください。

◆ デジタルズームは、シーンモードにより使用できません。又、動画モード・音声モードでも使用できません。

◆ インテレクトズームの最大倍率は、静止画サイズと画質によって異なります。

◆ プログラムモード時に選択できます。

◆ 基本モードにより初期設定は異なります。

日付プリント(日付スタンプ)(初期設定:オフ)

撮影する静止画に日付をプリントすることができます。

1. 「日付スタンプ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

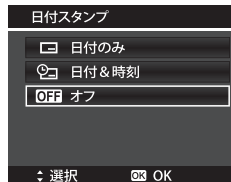
   日付のみ　:日付のみプリント設定をします。

   日付&時刻:日付と時刻のプリント設定をします。

   OFF オフ　:日付プリント設定をしません。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.

2.

- ◆ 静止画のみの機能です。
- ◆ 日付スタンプ設定時は、AEBおよび連写が多少遅くなる場合があります。
- ◆ 日付をプリントした静止画を回転した場合、日付も回転されます。
- ◆「日付プリント」設定時に、カメラの日付／時刻が正しいかを確認してください。

静止画モード

プレビュー(自動表示)(初期設定:オン)

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を約1秒間表示します。

1. 「自動表示」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   ON オン:プレビュー機能を有効にします。

   OFF オフ:プレビュー機能を無効にします。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

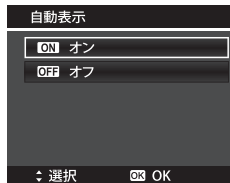
2.

2.

自動表示

ON オン

OFF オフ

選択　OK OK

◆ 静止画のみの機能です。

グリッド(初期設定:オフ)

撮影する際、液晶モニターに縦横の線を表示することができます。

1. 「グリッド」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   ON オン:グリッドを表示します。

   OFF オフ:グリッドを表示しません。
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

グリッド表示

1.

2.

◆ 静止画のみの機能です。

手ブレ軽減

静止画撮影時の手ブレを最小限に軽減します。

1. 「手ぶれ軽減」を選択し、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

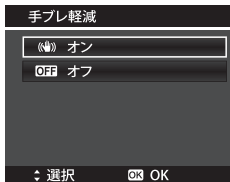
ON オン：手ぶれ軽減を設定します。

OFF オフ：手ぶれ軽減を設定しません。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.

手ぶれ軽減アイコン

※設定により表示されるアイコンは異なります。

◆手ブレ軽減機能をご使用の場合、ISO感度は自動的に「オート」になります。
◆被写体周辺の光量が不足していると、ノイズが発生する場合があります。
◆手ブレ軽減機能は電子式です。
◆静止画のみの機能です。

連続AF

P.64「連続AF」をご覧ください。

ズーム

P.65「ズーム」をご覧ください。

静止画モード

機能メニュー

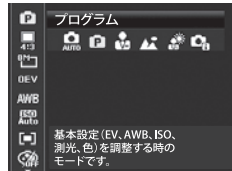
静止画モードの様々な機能を設定します。

1. 機能ボタン Fn を押して機能メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択します。

◆機能メニューは、設定中の基本モード等により、利用可能なメニューが異なります。液晶モニター左側のメニューバーでは、利用可能なメニューが表示されます。

◆選択されている項目は、黄色のアイコンで表示されます。

2.

1.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

マイモード表示

最近使用した6種類の記録モード（マイモード）を表示します。

1. 「記録モード（マイモード）」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して6種の中から選択し、OKボタンを押して決定します。シーンの内容はP.32「シーンモードの切り替え」をご覧ください。

2.

プログラム
0EV
AWB
Auto
基本設定（EV、AWB、ISO、
測光、色）を調整する時の
モードです。

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

静止画モード

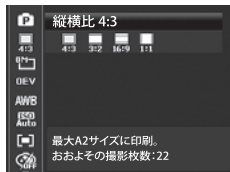
縦横比（初期設定：4:3）

撮影する静止画の縦横比を設定します。

1.「縦横比」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- 4:3　：縦横比 4:3
- 3:2　：縦横比 3:2
- 16:9：縦横比 16:9
- 1:1　：縦横比 1:1（ソフトウェア補間になります。）

2.

※表示は基本モード等の設定状況、メモリー容量により異なります。

◆静止画のみの機能です。

静止画サイズ（初期設定：16M）

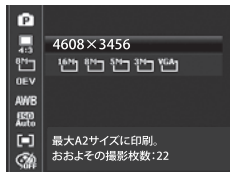
撮影する静止画のサイズを設定します。

1.「静止画サイズ」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- 16M ：約1600万画素
- 8M ：約800万画素
- 5M ：約500万画素
- 3M ：約300万画素
- VGA：約30万画素

2.

4608×3456

最大A2サイズに印刷。
おおよその撮影枚数：22

※表示は基本モード等の設定状況、メモリー容量により異なります。

◆ サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

◆ VGAサイズは、e-mail等の添付に適しています。

◆ 静止画のみの機能です。

静止画モード

露出補正（初期設定：OEV）

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は＋（明るく）補正し、明るすぎる場合には－（暗く）補正します。
露出値は、－2.0～+2.0（1/3EVステップ）の間で調整することができます。

1. 「露出補正」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して補正値を選択し、OKボタンを押して決定します。

2.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

◆ 基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

ホワイトバランス（初期設定：自動ホワイトバランス）

手動ホワイトバランスでの色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. 「ホワイトバランス」選択画面を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

AWB 自動 ：自動で調整します。

晴天 ：屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇り ：屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

白熱灯 ：室内の白熱灯下での撮影に適しています。

蛍光灯H：室内の蛍光灯下（赤色系）での撮影に適しています。

蛍光灯L：室内の蛍光灯下（青色系）での撮影に適しています。

カスタム：この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。

2.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

◆ 基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

ISO感度(初期設定:オート)

2.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. 「ISO感度」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オート　　:感度を自動で調整します。
ISO 100　:屋外の晴天時での撮影に適しています。
ISO 200　:屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。
ISO 400　:屋外の曇天時、または光量が少ない室内でフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。
ISO 800　:光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
ISO 1600:光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
ISO 3200:極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
ISO 6400:極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

◆ 上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。
◆ 手ブレ軽減機能を「オン」に設定している場合(P.52参照)、ISO感度は自動的に「オート」に設定されます。任意のISO感度を設定する場合は、手ブレ軽減機能を「オフ」に設定してください。
◆ ISO 3200、6400は、静止画サイズが3M、VGAの場合のみ選択可能です。
◆ 基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

測光方式（初期設定：マルチ）

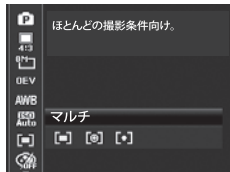
露出の測光方式を設定します。

1. 「測光方式」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

[■] マルチ　　：全体的に測光します。

[◎] 中央部重点：中央部周辺を重点的に測光します。

[•] スポット　：被写体の中央部を部分的に測光します。

2.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

◆ 基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

色効果（初期設定：オフ）

色効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

1. 「色効果」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オフ		：効果を加えません。
鮮明		：色味をはっきりと強調します。
セピア		：セピア画像にします。
カラーアクセント（赤）		：赤色系を残し白黒画像にします。
カラーアクセント（緑）		：緑色系を残し白黒画像にします。
カラーアクセント（青）		：青色系を残し白黒画像にします。
モノクロ		：白黒画像にします。
赤		：赤色のフィルターのような効果を加えます。
緑		：緑色のフィルターのような効果を加えます。
青		：青色のフィルターのような効果を加えます。

2.

※表示は基本モード等の設定状況により替わります。

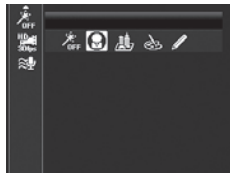
◆ 基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

特殊効果（初期設定：オフ）

静止画撮影時、特殊効果を加えます。

1. 「特殊効果」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- オフ　：効果を加えません。
- 魚眼レンズ：魚眼レンズのような効果を加えます。
- 縮小効果　：ミニチュア撮影のような効果を加えます。
- 描画　：描画のような効果を加えます。
- スケッチ　：スケッチ画のような効果を加えます。

2.

※表示は基本モード等の設定状況により替わります。

◆ 基本モードを「プログラム」に設定し、デジタルズームをオフに設定してください。
P.48「デジタルズーム」をご覧ください。

動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. 録画ボタンを押して撮影を開始します。
4. 上ボタンを押すと、撮影を一時停止します。再度上ボタンを押すと、撮影を開始します。
5. 再度録画ボタンを押すと撮影を終了し、撮影画面に戻ります。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

◆1ファイルの最大容量は4GBまたは29分です。

◆メモリー残量が無くなると、カメラは自動的に撮影を終了します。

◆デジタルズームは、使用できません。

◆ズーム中は、音声は記録されません。

◆動画撮影中および一時停止中は、自動電源オフ機能(省電力)は作動しません。

ズーム撮影

P.31「ズーム撮影」をご覧ください。

撮影距離

P.36「撮影距離」をご覧ください。

撮影メニュー

撮影時の設定をします。

1. メニューボタン Ⓜ を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択し、
   OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。

連続AF（初期設定：オン）

動画撮影時のオートフォーカスを設定します。

1. 「連続AF」を選択し、サブメニューを選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   OKボタンを押して決定します。

   ON オン： 連続AFを設定します。

   OFF オフ： 連続AFを設定しません。
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

◆ 動画のみの機能です。

◆ 撮影条件により、追尾できない場合があります。あらかじめご了承ください。

動画モード

ズーム（初期設定：オン）

動画撮影時、光学ズームをオン·オフします。

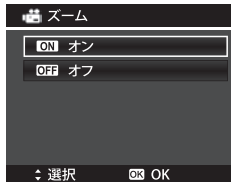
1. 「 ズーム」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   ON オン： 光学ズームを使用します。

   OFF オフ： 光学ズームを使用しません。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

◆ 動画ではデジタルズームは使用できません。
◆ 動画のみの機能です。

動画モード

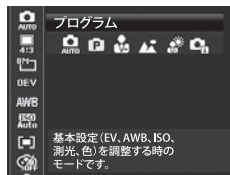
機能メニュー

動画モードの様々な機能を設定します。

1. 機能ボタン (Fn) を押して機能メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択します。

1.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

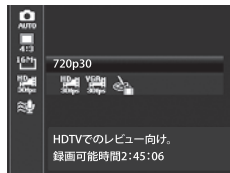
◆機能メニューは、設定中の基本モード等により、利用可能なメニューが異なります。液晶モニター左側のメニューバーでは、利用可能なメニューが表示されます。

◆選択されている項目は、黄色のアイコンで表示されます。

動画サイズ（初期設定：720p30）

撮影する動画サイズを設定します。

1. 「動画サイズ」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- 720p30　：1280×720（HDサイズ）
- VGAp30　：640×480（VGAサイズ）
- 720p30（描画）：イラスト風な効果を加えて撮影します。

1.

※表示は基本モード等の設定状況により替わります。

◆サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる時間が少なくなります。

◆1280×720サイズも標準画質です。SDHCメモリーカードをご使用ください。

動画モード

風カット(初期設定:オフ)

動画撮影時、カメラ周辺の風の音を最小限に抑えます。

1. 「風カット」を選択します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オン:風カット機能をオンします。

オフ:風カット機能を使用しません。

1.

※表示は基本モード等の設定状況により異なります。

ホワイトバランス

P.57「ホワイトバランス」をご覧ください。

色効果

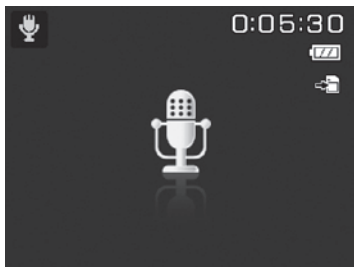
P.60「色効果」をご覧ください。

音声モード

音声の録音

テープレコーダーのように、音声を録音することができます。

1. メニューボタン を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シーンモード 」を選択し、
   OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 左または右ボタンを押して「録音 」を選択し、OKボタンを押して決定します。
4. シャッターボタンを押して、録音を開始します。
5. 再度シャッターボタンを押すと、録音を終了します。

3.

※表示は設定により異なります。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

◆メモリー残量が無くなると、カメラは自動的に録音を終了します。

静止画ファイルの再生

静止画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい静止画ファイルを選択します。

3.

※表示は設定により異なります。

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. ズームレバーを右に回すと拡大表示、その後ズームレバーを左に回すと縮小表示します。
3. 上／下または左／右ボタンを押して、拡大表示範囲を移動します。
4. 再度、再生ボタンを押すかシャッターボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.

※表示は設定により異なります。

◆静止画ファイルのみの機能です。
◆最大12倍まで拡大表示できます。

動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい動画ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、動画ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
   再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
   また、一時停止中に左ボタンを押すとコマ戻し、右ボタンを押すとコマ送りを行うことができます。
6. 再生中、左ボタンを押すと早戻し、
   右ボタンを押すと早送りを行うことができます。
7. 再生中、ズームボタンを右または左に押して、音量を調節することができます。
8. 下ボタンを押すと、再生途中でも再生を終了します。

◆一時停止中・早送り／早戻し中は、音量を調節することができません。

3. 動画ファイル表示

4.

7.

※表示は設定により異なります。

動画ファイルの編集

動画ファイルを編集(前後の不要部分をカット)することができます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい動画ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、動画ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押して再生を一時停止します。
6. 機能ボタン を押します。動画編集画面が表示されます。
7. 上または下ボタンを押して を選択後、左または右ボタンを押して
   動画ファイルのカットしたい最初の部分を選択します。
   0.5秒ずつ移動し、カットされる部分は青い帯が移動して表示されます。
8. 上または下ボタンを押して を選択後、左または右ボタンを押して
   動画ファイルのカットしたい最後の部分を選択します。
9. 動画を編集後、上または下ボタンを押して を選択し、OKボタンを押すと
   編集後の動画を再生します。
10. 上または下ボタンを押して を選択すると編集後の動画を保存します。
    編集後の動画は個別のファイルとして保存されます。
    上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

    保存　　　:編集したファイルを保存します。

    キャンセル:編集したファイルを保存しません。
11. 編集途中で終了する場合は上または下ボタンを押して、 を選択し、
    下記のいずれかを選択しOKボタンを押します。

    はい　　　:再生画面に戻ります。

    キャンセル:編集画面に戻ります。

6.

7.

8.

◆黄色アイコンが選択されています。動画編集は約2秒以下の短いファイルではできません。
◆編集された動画は、別ファイルとして保存されます。

音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい音声ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、音声ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
   再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
6. 再生中、ズームレバーを右または左に回して、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押すと、再生途中でも再生を終了します。

◆一時停止中は、音量を調節することができません。

3.

6.

※表示は設定により異なります。

音声メモ(ボイスメモ)の付加録音

撮影した静止画に音声メモを加えることができます。

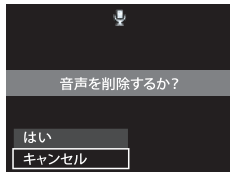
1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. 左または右ボタンを押して、音声メモを付加する静止画ファイルを選択します。
4. メニューボタン を押して、「ボイスメモ」を選択し、
   OKボタンまたは右ボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

   スタート　：音声メモの付加録音を開始します。

   キャンセル：音声メモを付加しません。
6. 録音が開始されます。
7. 再度OKボタンを押すと、音声メモの追加を終了します。

3.

5.

※表示は設定により異なります。

◆ 音声メモの付加された静止画には アイコンが表示されます。
◆ 音声メモは最大30秒です。

●音声メモを削除する場合

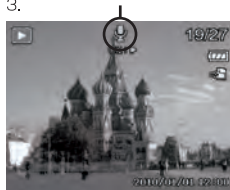
B-1. 音声メモを消去するファイルを表示します。
B-2. 再生メニューから「画像消去」を選択し、サブメニューを表示します。
B-3. 上または下ボタンで「音声のみ」を選択し、OKボタンを押します。
B-4. 上または下ボタンで「はい」を選択し、OKボタンを押して決定します。
　　アイコンが消えます。

B-4.

音声メモの再生

静止画に付加録音された音声メモを再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. 左または右ボタンを押して、音声メモが付加された静止画ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、音声メモを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
   再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
6. 再生中、ズームレバーを右または左に回して、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押すと、再生途中でも再生を終了します。

3.

◆一時停止中は、音量を調節することができません。

再生モード

クイック消去

液晶モニターに表示中のファイルを消去します。

1. 消去するファイルを表示します。
2. 機能ボタン Fn を押します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

消去　　　：液晶モニターに表示中のファイルを消去します。

キャンセル：消去しません。

3.

◆消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

◆再生メニューからファイルを消去する方法もあります。P.78～P.79「画像消去」をご覧ください。

◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。

回転

液晶モニターに表示中のファイルを回転します。

1. 回転するファイルを表示します。
2. 上ボタンを押します。ボタンを押すごとに時計回りに90°ずつ回転します。

◆ 静止画のみの機能です。

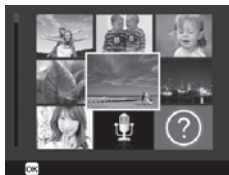
◆ 回転した状態で保存されます。

再生モード

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切り替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. ズームレバーを左に回すと、9分割のサムネイル表示に切り替わります。
4. 上／下または左／右ボタンを押し、ファイルの選択（黄枠）を移動します。
5. OKボタンを押すと一画面表示に戻ります。

3.

カレンダー表示

撮影したファイルを日付（カレンダー）の中から素早く探すことができます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. ズームレバーを左に2回続けて回すと、カレンダー表示に切り替わります。
4. 上／下または左／右ボタンを押して日付の選択（黄枠）を移動し、
   OKボタンを押します。
5. 選択された日付のファイルが一画面表示されます。
   左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。

3.

◆カレンダー上にそれぞれ表示されたファイルは、当日最初に記録されたファイルになります。
◆ズームレバーを右に回すと、9画面のサムネイル表示に切り替わります。
◆選択した日付のファイル表示をすべて完了した場合、右ボタンをさらに押すと次の撮影日のファイルを表示します。

再生メニュー

再生メニューモードの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタン を押します。
3. メニューボタン を押して、再生メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して項目を選択し、
   OKボタンを押してサブメニューを表示します。

3.

画像消去
スライドショー
プロテクト
赤目補正
ボイスメモ
選択　MENU 終了

◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。

画像消去

不要なファイルを消去します。

1.「画像消去」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

一枚　　：選択したファイルを消去します。

音声のみ：音声メモの付加された静止画から音声メモだけを消去します。
操作方法はP.73「音声メモ（ボイスメモ）の付加録音」をご覧ください。

マルチ　：同時に複数のファイルを消去します。

全て　　：全てのファイルを消去します。

〈「一枚」を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押して、消去するファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

消去　　　：表示中のファイルを消去します。

キャンセル：表示中のファイルを消去しません。

A-3. ファイル消去後、他のファイルを消去しない場合は
「キャンセル」を選択してOKボタンを押すと、再生メニューに戻ります。

A-4. メニューボタンまたは再生ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

●次ページへ続く

1.

2.

画像消去

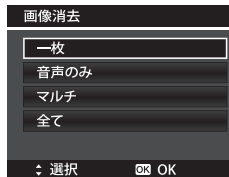
一枚

音声のみ

マルチ

全て

選択　OK OK

A-2.

●P.78からの続き

〈「マルチ」を選択した場合〉

C-1. 上／下または左／右ボタンを押して消去するファイルを選択（黄色の枠を移動）し、OKボタンを押します。
消去するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。
選択したファイルには、ゴミ箱マークが付きます。

C-2. メニューボタンを押します。

C-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

はい　　　：選択されたファイルを消去します。

キャンセル：前の画面に戻ります。

C-4. 再生画面に戻ります。

〈「全て」を選択した場合〉

D-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

はい　　　：すべてのファイルを消去します。

キャンセル：再生メニューに戻ります。

◆消去したファイルは、元に戻りませんのでご注意ください。

◆保護されたファイルは、消去されません。

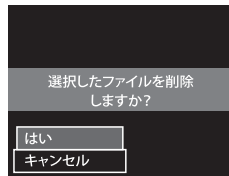
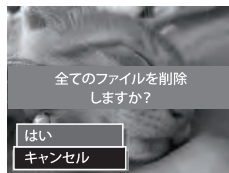
◆クイック消去を使用し、ファイルを素早く消去する方法もあります。
P.75「クイック消去」をご覧ください。

◆選択されている項目は、黄色枠で表示されます。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

C-1.

C-3.

D-1.

スライドショー

メモリーに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 「スライドショー」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記の項目を選択し、
   左または右ボタンを押して設定します。

   間隔（初期設定:3秒）：スライドショーの表示間隔を設定します。
   「1s 1秒」「3s 3秒」「5s 5秒」「10s 10秒」のいずれかを選択します。

   遷移：スライドショーの表示切替を設定します。

   繰り返し（初期設定:連続）：スライドショーの繰り返しを設定します。
   「繰り返し表示」「一巡すると終了」のいずれかを選択します。

3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

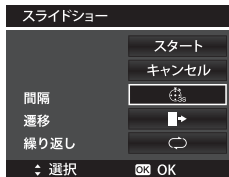
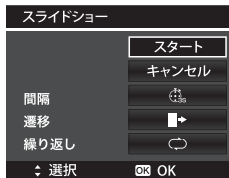
   スタート　：スライドショーを開始します。

   キャンセル：スライドショーを開始しません。

4. 終了する場合は、OKボタンを押し、
   上または下ボタンを押して「終了」を選択してOKボタンを押します。

   続ける：スライドショーを続けます。

   終了　：スライドショーを終了します。

5. 再生モードに戻ります。
   スライドショー中に再生ボタンを押してもスライドショーを終了します。

◆ 静止画のみの機能です。動画は表示しません。

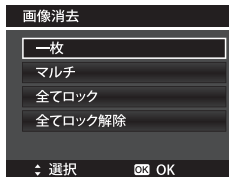
保護(プロテクト)

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

1.「プロテクト」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

一枚　　　　　：選択したファイルを保護します。
マルチ　　　　：同時に複数のファイルを保護します。
全てロック　　：全てのファイルを保護します。
全てロック解除：全てのファイルを保護解除します。

●次ページへ続く

●P.81からの続き

〈「一枚」を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押して、保護するファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ロック：表示中のファイルを保護します。

終了　：表示中のファイルを保護しません。

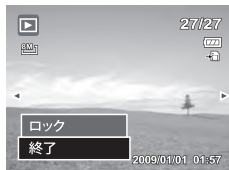
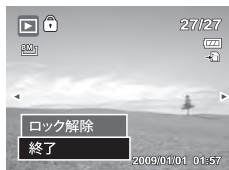
A-3. 保護したファイルの保護（ロック）を解除する場合は、
解除するファイルを左または右ボタンを押して選択します。
上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ロック解除：保護設定を解除します。

終了　　　：保護を解除しません。

●次ページへ続く

A-2.

A-3.

●P.82からの続き

〈「マルチ」を選択した場合〉

B-1. 上／下または左／右ボタンを押して保護するファイルを選択（黄色の枠）し、OKボタンを押します。保護するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。
保護されたファイル（黄色の枠）を選択してOKボタンを押すと保護が解除されます。

B-2. メニューボタンを押します。

B-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

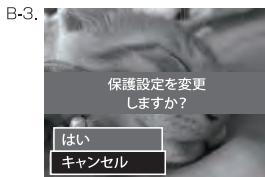
はい　　　：選択されたファイルを保護します。

キャンセル：再生メニューに戻ります。

〈「全てロック」を選択した場合〉

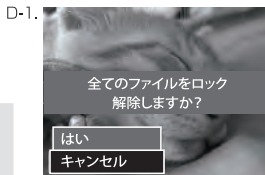
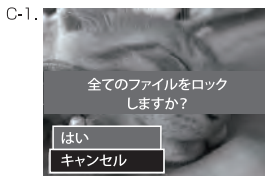
C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい　　　：すべてのファイルを保護します。

キャンセル：再生メニューに戻ります。

〈「全てロック解除」を選択した場合〉

D-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい　　　：すべてのファイルを保護解除します。

キャンセル：再生画面に戻ります。

◆保護されたファイルには、ロックアイコン 🔒 が表示されます。
※設定により表示されるアイコンは異なります。

B-1.

B-3.

保護設定を変更
しますか？
はい
キャンセル

C-1.

全てのファイルをロック
しますか？
はい
キャンセル

D-1.

全てのファイルをロック
解除しますか？
はい
キャンセル

赤目補正

撮影した静止画の赤目を補正します。
暗い場所でフラッシュ撮影すると黒目が赤く写る場合があります。

1.「赤目補正」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

スタート　：赤目を補正します。
キャンセル：赤目を補正しません。

〈「スタート」を選択した場合〉

3. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

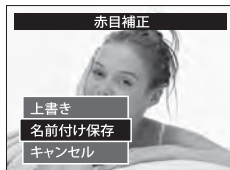
上書き　　　：元のファイルに上書きして保存します。
名前付け保存：新しいファイル番号で保存します。
キャンセル　：保存しません。

4. 再生画面に戻ります。

◆別ファイル保存（名前付け保存）をお薦めします。
◆すべての撮影状況で動作を保証するものではありません。

1.

2.

3.

音声メモ

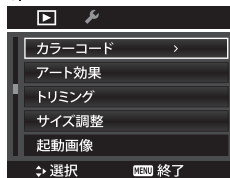
P.73「音声メモ(ボイスメモ)の付加録音」をご覧ください。

色効果 (カラーコード)(初期設定:オフ)

撮影した静止画を編集(色効果等を加える)印象の異なる写真にします。

1. 「カラーコード」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定。

N	オフ	: 効果を加えません。
S	セピア	: セピア画像にします。
BW	モノクロ	: 白黒画像にします。
R	赤	: 赤色のフィルターを装着したような効果を加えます。
G	緑	: 緑色のフィルターを装着したような効果を加えます。
B	青	: 青色のフィルターを装着したような効果を加えます。

3. 別ファイルとして保存され再生画面に戻ります。

◆編集された写真は別ファイルとして保存されます。
◆静止画のみの機能です。

1.
2.

アート効果（初期設定：オフ）

撮影した静止画に各種の効果を加えます。

1.「アート効果」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オフ	：効果を加えません。
ネガ	：ネガ風にします。
モザイク	：全体にモザイクをかけます。
星形	：光源等の明るい位置に星形を付加します。
縮小効果	：ジオラマ風にします。
描画	：イラスト風にします。
スケッチ	：スケッチ風にします。

3. 別ファイルとして保存され再生画面に戻ります。

1.

2.

◆ 効果を加えた静止画は、別ファイルとして保存されます。
◆ 静止画のみの機能です。

トリミング

撮影した静止画をトリミングします。

1. トリミングする静止画を選択して表示します。
2. 「トリミング」を選択し、サブメニューを表示します。
3. ズームレバーを左または右に回して拡大率を決定し、左／右または上／下ボタンを押して範囲を移動し、OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを設定し、OKボタンを押して決定します。

   上書き　　　：元のファイルに上書きして保存します。
   名前付け保存：別ファイルとして保存します。
   キャンセル　：保存しません。

5. 再生画面に戻ります。

◆ 3:2、16:9、VGAサイズのファイルはトリミングできません。
◆ 別ファイル保存（名前を付け保存）をお薦めします。
◆ 静止画のみの機能です。

2.

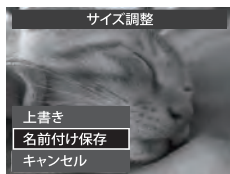
3.

4.

※設定により表示は異なります。

サイズ調整

撮影した静止画のサイズを変更することができます。

1. サイズ調整する静止画を選択して表示します。
2. 「サイズ調整」を選択し、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   - 8M ：8Mに変更します。
   - 5M ：5Mに変更します。
   - 3M ：3Mに変更します。
   - VGA：VGA(約30万画素)に変更します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
   - 上書き ：元のファイルに上書きして保存します。
   - 名前付け保存：別ファイルとして保存します。
   - キャンセル ：保存しません。
5. 再生画面に戻ります。

◆VGAサイズのファイルはサイズを調整できません。
◆VGAサイズは、e-mailの添付に適したサイズになります。
◆サイズを小さくします。大きくすることはできません。
◆別ファイル保存(名前を付け保存)をお薦めします。
◆静止画のみの機能です。

2.

3.

4.

起動画面の設定（起動画像）（初期設定：システム）

起動画面に表示する静止画を任意設定することができます。

1.「起動画像」を選択し、サブメニューを表示します。

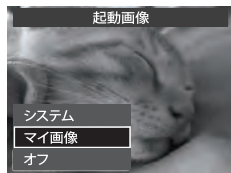
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを設定し、OKボタンを押して決定します。

システム：工場出荷時の起動画面に設定します。

マイ画像：表示中のファイルを起動画面に設定します。
左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。

オフ　　：起動画面を設定しません。

1.

2.

◆起動画面に設定中のファイルを消去した場合でも、表示される起動画面は変更されません。

DPOF

〈DPOFとは〉

DPOFは、DPOFをサポートするプリンターを使い、SDメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 「DPOF」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

一枚　：選択したファイルをDPOF設定します。
全て　：全てのファイルをDPOF設定します。
リセット：DPOF設定を解除します。

●次ページへ続く

1.

2.

●P.90からの続き

〈「一枚」を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押して、DPOF設定を行うファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して、プリント枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消す場合は、枚数を0にします。

A-3. 機能ボタンを押して、プリントする写真への日付印字を選択します。
ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。
「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、
「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。
OKボタンを押して決定します。 アイコンが表示されます。

A-4. 他のファイルもプリント指定する場合は、A-1～A-3の操作を繰り返します。

2.

A-3.

◆ 撮影時に「日付プリント」がオンに設定されている場合、日付スタンプをオフには設定できません。

●次ページへ続く

●P.91からの続き

〈「全て」を選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押して、枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消す場合は、枚数を0にします。

B-2. 機能ボタンを押して、プリントする写真への日付印字を選択します。ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。「日付スタンプオン」を選択すると日付プリント設定が行われ、「日付スタンプオフ」を選択すると日付プリント設定は行われません。

B-3. OKボタンを押して決定します。 アイコンが表示されます。

〈「リセット」を選択した場合〉

C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

はい　　　：DPOF設定を解除します。

キャンセル：DPOF設定を解除しません。
　　　　　　メニュー画面に戻ります。

◆DPOF設定したファイルには アイコンが表示されます。
◆静止画のみの機能です。

2.

B-1.

C-1.

放射状のぼかし

撮影した画像に、放射状のぼかしたような効果を加えます。

1. 「放射状のぼかし」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

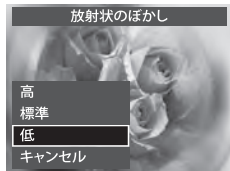
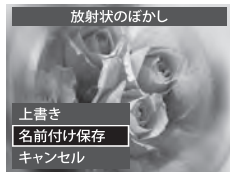
   高　：効果を強調します。
   標準　：効果を加えます。
   低　：少し効果を加えます。
   キャンセル：効果を加えません。

3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   上書き　：元のファイルに上書きして保存します。
   名前付け保存：新しいファイル番号で保存します。
   キャンセル　：保存しません。

◆ 処理には多少の時間がかかります。
◆ 別ファイル保存(名前を付け保存)をお薦めします。

1.

2.

3.

設定モード

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、「 設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押し、各項目を選択し、サブメニューを表示します。

◆ 選択されている項目は、黄色枠で表示されます。

2.

3.

操作音（初期設定：オン）

カメラの操作に関する操作音を設定します。

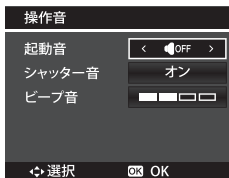
1. 「操作音」を選択し、サブメニューを表示。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、左または右ボタンを押して決定します。

   起動音　　　：起動時の音をサウンド1、サウンド2、サウンド3から選択します。

   シャッター音：オン･オフを選択します。

   ビープ音　　：ビープ音（操作音）の音量を選択します。
3. OKボタンを押して決定します。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

設定モード

自動電源オフ（省電力）（初期設定：1分）

カメラを操作しない時間が一定時間続くと、
電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1. 「省電力」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

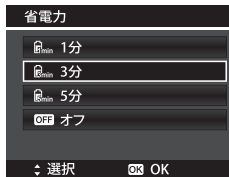
   1min 1分：液晶のオフ後、1分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

   3min 3分：液晶のオフ後、3分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

   5min 5分：液晶のオフ後、5分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

   OFF オフ：液晶のオフ後、自動電源オフ機能を無効にします。
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

◆カメラを約1分間操作をしない場合、液晶モニターがオフになります。いずれかのボタンを押すと、液晶モニターがオンに戻ります。

◆以下のような場合、自動電源オフは作動しません。

・動画を撮影中または音声を録音中の場合
・スライドショー・動画ファイル・音声ファイルを再生中の場合
・USB-PC接続ケーブルとパソコン等を接続中の場合

液晶の減光（初期設定：オン）

カメラの操作に関する操作音を設定します。
20秒間以上カメラを操作しない時間が続くと、電力節約のため液晶モニターの明るさが自動的に減光します。元の明るさに戻す場合は、いずれかのボタンを押します。

1. 「液晶の減光」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
   ON オン　:液晶の減光機能を有効にします。
   OFF オフ　:液晶の減光機能を無効にします。
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

◆以下のような場合、液晶減光機能は作動しません。
○スライドショー・動画ファイル・音声ファイルを再生中の場合

日付設定

P.23「日付と時刻の設定」をご覧ください。

言語

P.24「言語の設定」をご覧ください。

表示モード(初期設定:オン)

液晶モニターのアイコン等の表示を設定します。

1. 「表示モード」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

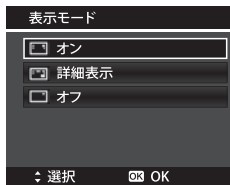
   オン　:液晶モニター表示をします。

   詳細情報:液晶モニターに詳細な情報を表示します。

   オフ　:液晶モニターに最小限の表示をします。

3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

設定モード

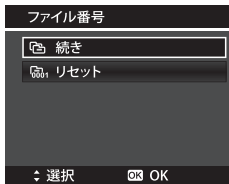
ファイル番号（初期設定：続き）

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1.「ファイル番号」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
   - 続き　：フォルダが変更されても、ファイル番号を連続で割り当てます。
   - 0001 リセット：フォルダ変更されるたびに、ファイル番号は0001から始まります。
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

◆リセットに設定の場合、フォーマットするとファイル番号が0001から始まります。パソコンに保存する場合、上書き保存にご注意ください。

TV放送方式

本機はTV接続に対応しておりません。あらかじめご了承ください。

液晶輝度（初期設定：標準）

液晶モニターの明るさを設定します。

1.「液晶輝度」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

   オート　:自動で輝度を調整します。

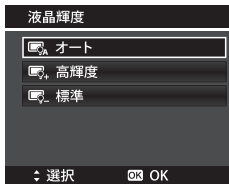
   高輝度　:明るめに表示します。

   標準　　:標準的な輝度で表示します。

3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.

2.

液晶輝度
オート
高輝度
標準
選択
OK OK

◆高輝度に設定すると屋外でも見やすくなりますが、電池の消耗が早くなります。

カードへコピー(メモリキット)(初期設定:フォーマット)

内蔵メモリーのファイルをSDメモリーカードにコピーします。

1. 「メモリキット」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

フォーマット　　:メモリーをフォーマット(初期化)します。
　　　　　　　　P.20「SD/SDHCメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

カードへコピー:内蔵メモリーのファイルを、SDメモリーカードにコピーします。
　　　　　　　　ファイルをコピーする場合は、こちらを選択します。

3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択して、OKボタンを押して決定します。

はい　　　:内蔵メモリーの全てのファイルをSDメモリーカードにコピーします。

キャンセル:SDメモリーカードにコピーしません。

4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

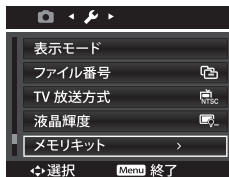
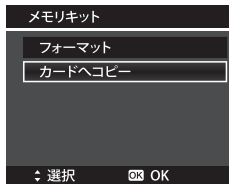
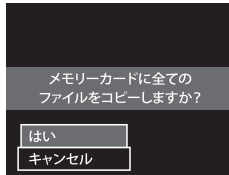
◆SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードが挿入されていない場合、「カードへコピー」は使用できません。

◆内蔵メモリーのファイル容量により、処理に多少の時間がかかる場合があります。

1.

表示モード
ファイル番号
TV 放送方式
液晶輝度
メモリキット
選択　Menu 終了

2.

3.

初期設定（全てをリセット）

カメラの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. 「全てをリセット」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

　　はい　　　：工場出荷時の初期設定に戻します。

　　キャンセル：工場出荷時の初期設定に戻しません。

3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

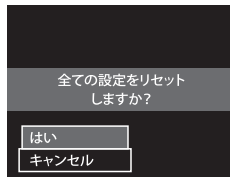
◆日付／時刻・言語は、初期設定に戻してもリセットされません。

1.

3.

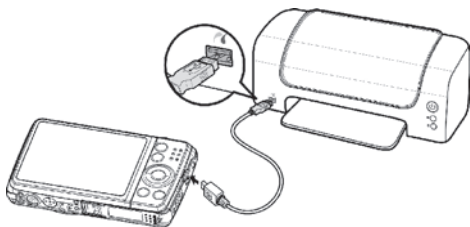
全ての設定をリセット
しますか？

はい

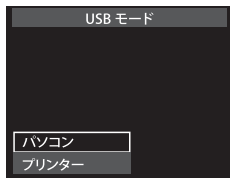
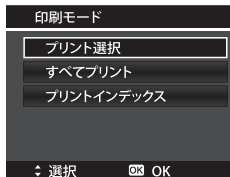
キャンセル

プリンターとの接続

パソコンを経由せずに、撮影した静止画をご家庭のプリンターでプリントすることができます。
カメラがダイレクトプリント対応プリンターに接続されていない場合、
液晶モニターにエラーメッセージが表示される場合があります。

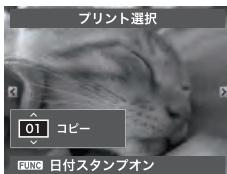
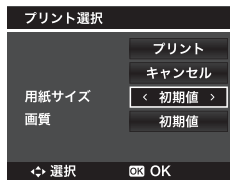
3.

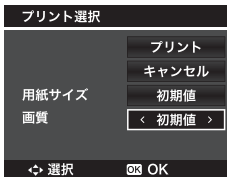
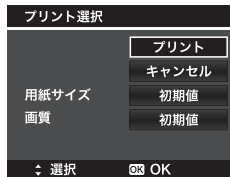
4.

1. カメラとプリンターの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルのミニ端子（小さい方）をカメラに、
   USB端子（大きい方）をプリンターに接続します。
3. 「USBモード」が表示されます。
   上または下ボタン押し、「プリンター」を選択して OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

   プリント選択　　　：画像を選択してプリントします。
   すべてプリント　　：すべての静止画をプリントします。
   プリントインデックス：索引プリントします。

●次ページへ続く

●P.103からの続き

〈「プリント選択」を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択し、上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。
機能ボタンを押して日付プリントのオン・オフを設定します。
設定後、OKボタンを押します。
プリントする画像を間違えた場合は、プリント枚数を00に設定してください。

A-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値	：プリンターの設定値
4"×6"	：4インチ×6インチサイズ
A4	：A4サイズ

A-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値	：プリンターの設定値
ファイン	：高画質
標準	：標準画質

A-1.

A-2.

A-3.

A-4.

A-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。

プリント	：プリントを開始します。
キャンセル	：プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。「印刷中」と表示中にメニューボタンを押すとプリントを中止します。
他の画像もプリントする場合は、A-1.～A-4.を繰り返します。

●次ページへ続く

●P.104からの続き

〈「すべてプリント」を選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。機能ボタンを押して、日付プリントのオン・オフを設定します。設定後、OKボタンを押します。

B-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 ：プリンターの設定値
4"×6" ：4インチ×6インチサイズ
A4 ：A4サイズ

B-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 ：プリンターの設定値
ファイン ：高画質
標準 ：標準画質

B-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。

プリント ：すべての静止画をプリントします。
キャンセル ：プリントをしません。

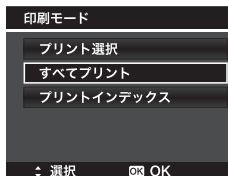
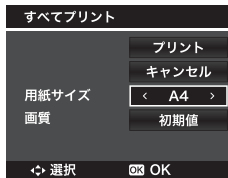
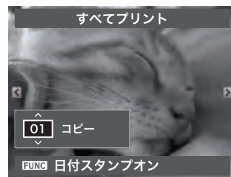
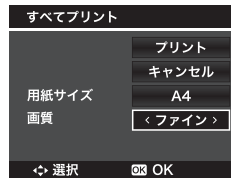
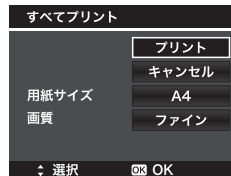
プリント中は「印刷中」と表示されます。
「印刷中」と表示中に機能ボタンを押すとプリントを中止します。

B-1.

B-2.

B-3.

B-4.

●次ページへ続く

プリンターとの接続

●P.105からの続き

〈「プリントインデックス」を選択した場合〉

C-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を選択します。索引プリントでは、日付プリントはできません。
設定後、OKボタンを押します。

C-1.

C-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値	：プリンターの 設定値
4"×6"	：4インチ×6インチサイズ
A4	：A4サイズ

C-2.

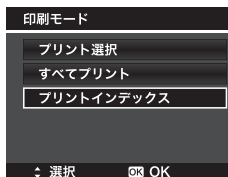
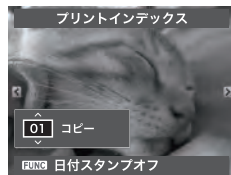
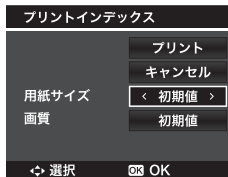
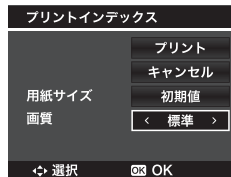
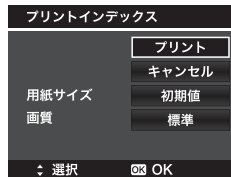
C-3. 上または下ボタンを押して「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値	：プリンターの 設定値
ファイン	：高画質
標準	：標準画質

C-3.

C-4. 上または下ボタンを押して「プリント」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。

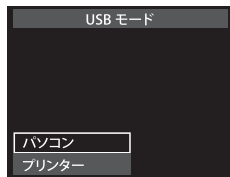
プリント	：索引プリントします。
キャンセル	：索引プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。
「印刷中」と表示中に機能ボタンを押すとプリントを中止します。

C-4.

◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
◆お使いのプリンターの設定をご確認ください。
◆お使いのプリンタにより設定･表示等は異なります。

パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。

1. 付属のUSB-PC接続ケーブルのUSB端子(大きい方)をパソコンに接続し、もう片方のUSB端子(小さい方)をカメラに接続します。
2. パソコンとカメラの電源を入れます。
3. カメラの液晶モニターに「USBモード」が表示されます。
   上または下ボタンを押し、「パソコン」を選択してOKボタンを押します。
   初めてパソコンに DSC1650Z を接続するとパソコンのモニターに 「デバイスドライバーソフトェアをインストールしています」と小さく表示され、しばらくすると「デバイスを使用する準備が出来ました」と表示されます。
4. 「接続中」表示後にしばらくして「PCモード」が表示され、カメラの液晶モニターが非表示になり、カメラの内蔵メモリーとSDメモリーカードのファイルが、リムーバブルディスクとして表示されます。
5. ファイルは「スタート」→「コンピューター」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100DICAM」等にあります。
6. 終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続ケーブルを外してください。

3.

◆カメラがパソコンに接続されると、カメラの液晶モニターの表示がオフになります。
◆お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。

パソコンとの接続

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- [リムーバブルディスク]からコピーしている際（画像取り込み時）は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリー、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

ファイル名について

ファイル名は「DSCI」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。フォルダ番号が999またはファイル番号が9999を超える場合、「フォルダを作成することができません」という警告メッセージが表示されます。その場合はP.99「ファイル番号」をご覧の上、ファイル番号リセットをしてください。

- パソコン上で、メモリーカード内のフォルダ名およびファイル名を変更しないでください。カメラでファイルを再生できない可能性があります。

パソコンで再生する

静止画･動画を再生します。

1. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。(P.107「パソコンとの接続」をご覧ください。)
   ファイルをパソコンに保存してください。
2. 対応OS(P.113「パソコンの動作環境」をご覧ください。)で、すべての静止画が再生できます。
   同様に対応OSに標準装備の「Windows Media Player」で動画を再生できます。

トラブルシューティング

こんなときは

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の取り付け方向は間違っていませんか?	充電池の+−を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.16参照)
	電池残量は充分ですか?	充電池を充電してください。(P.15参照)
電池またはカメラが熱を持っている	カメラの連続使用またはフラッシュによるもので、異常ではありません。	
電源を入れるとすぐ切れる。	電池の残量不足では?	充電池を充電してください。(P.15参照)
シャッターボタンを押しても写真が撮れない。	シャッターボタンが完全に押されていますか?	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	メモリーカードの残量は充分ですか?	新しいメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.18･78～79参照)
	フラッシュが充電中では?	充電が終わるまで暫くお待ちください。
	メモリーカードがライトプロテクトされていませんか?	ライトプロテクトを解除してください。(P.19参照)
	メモリーカードは正しくフォーマットされていますか?	フォーマットできない場合、メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいメモリーカードをご使用ください。
ピントが合わない。	レンズが汚れていませんか?	レンズペーパーや柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。
	正しい撮影距離で撮影していますか?	正しい撮影距離で撮影してください。(P.36参照)
	シャッターを半押ししていますか?	静止画の撮影をご覧ください。(P.30参照)
ファイルが削除できない。	ファイルが保護されていませんか?	保護解除してください。(P.81～83参照)
	メモリーカードがライトプロテクトされていませんか?	ライトプロテクトを解除してください。(P.19参照)
ファイルをダウンロードできない。	お使いのパソコンのハードディスクの空き容量は充分ですか?	ハードディスクの容量が充分かどうかご確認ください。

記録可能枚数／時間の目安

静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	SDHC メモリーカード 4GB@6 以上		
	画質		
	スーパーファイン	ファイン	標準
16M	555	885	1308
8M	1096	1717	2558
5M	1770	2740	3970
3M	2677	4111	5005
VGA	14391	16447	19189

動画の記録可能時間

動画サイズ	SDHC メモリーカード 4GB@6 以上
HD(30fps)	27分45秒
VGA(30fps)	47分48秒

◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能枚数に差が出ます。
上記表は目安としてご参考下さい。

◆記録可能枚数に達する前に、電池残量が無くなる場合があります。

仕様

製品仕様

イメージセンサー	1/2.3型　CCD
総画素数	1644万画素
有効画素数	1615万画素
レンズ	f = 4.6～23mm　F3.2／6.4
35mmフィルム判換算	26mm～130mm相当
ズーム	光学：5倍、デジタル5倍
撮影距離	標準　：約0.05m ～ ∞（W）
	約0.6m ～ ∞（T）
	スーパーマクロ：約5cm（W）
液晶モニター	2.7型 TFT
内蔵メモリー	64MB
外部メモリー ※1	SDメモリーカード　：（32MB～2GB） SDHCメモリーカード：（4GB～32GB）
ファイル形式	静止画：JPEG　動画：MJPEG（AVI） 音　声：WAV
静止画サイズ	16M、8M、5M、3M、VGA
動画サイズ	1280×720（30fps）※2 640×720（30fps）
シャッタースピード	1/2000～1秒（オート）
ISO感度	自動、ISO100、200、400、800、1600 3200（3M、VGA）、 6400（3M、VGA）
セルフタイマー	オフ、2秒、10秒、10秒+2秒（2枚）
内蔵フラッシュ	モード：自動、赤目軽減、強制発光 スローシンクロ、発光禁止
	有効範囲：約1～4 m（W）、1m～2m（T）
露出補正	±2.0EV（1/3EVステップ）
ホワイトバランス	自動、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯1、蛍光灯2
電源	リチウムイオン充電池
手ぶれ軽減機能	装備（電子式）
出入力ポート	USB 2.0
DPOFプリント	対応
ダイレクトプリント	対応
寸法	約93.3X55.4X20.2mm
重量	約100g（付属品、電池を含まず） 約115g（充電池、SDメモリーカードを含む参考値）

※1 すべてのSD/SDHCメモリーカードで動作を保証するものではありません。
※2 SDHCメモリーカードをご使用ください。標準画質になります。

仕様

パソコン環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン

	Windows 対応 OS
	Windows XP(SP2) ／ Vista(32bit)／7(32/64bit)
CPU	Intel Pentium 4　2.0GHz 以上
メモリ	512MB 以上 (1GB を推奨)
ビデオカード	64MB 以上
インターフェース	USB 2.0

動作保証について

●上記動作環境は最低限の条件を満した仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。

●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。

●USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。

●Mac OS 10.3～10.7.2以降では動作しますが、サポート外となります。あらかじめご了承ください。

保　証　規　定

(1)修理の際は必ず　保証書を添付のうえ、ご購入店または最寄りの当社営業所または出張所までお申し付けください。
(2)修理箇所は明確にご指摘ください。
(3)　保証書の添付なき場合は有料修理となります。正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。

（下記①〜⑥など）

①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障

②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障

③火災や浸水・天災によって生じた故障

④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障

⑤その他類似的起因による故障

⑥消耗品（**充電池**、フラッシュの発光管等）のお取り替え

(4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
(5)保証書は紛失されても再発行は致しませんので大切に保管してください。
(6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。
(7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。
(8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
(9)　保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
(10)　保証書は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

[お願い]
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※　保証書を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。
※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。
※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。
●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。